

# 平成29年度 事業実施報告書

(事業報告書の順に記載)

情報部会

---

生物多様性保全部会

---

里山保全部会

---

再生可能エネルギー部会

---

その他の活動

---

学習センター事業部

---



指定管理者として運営する「緑に囲まれた宇都宮市環境学習センター」

## 情報部会

### 1) ホームページの運用 <http://kankyokoudouforum.jimdo.com/>



ホットな情報がアップされたホームページ

26年度末にホームページを全面改訂し、よりタイムリーに情報発信できる仕組みになりました。

29年度もフォーラムの活動を積極的にアップし、会員の皆さまへの情報提供につとめました。(情報アップ回数56回/年と過去最高)引き続き身近な情報発信に努め、会員の情報共有を進めてまいります。

### 2) 会報誌 (Eco together) の発行



年間4回、6・9・12・3月に53～56号を計画どおり発行しました。

部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい構成に心がけました。また、新しい企画「フォーラム会員のリレートーク」は、毎回会員が登場してそれぞれの環境への想いを語るもので、なかなか読みごたえのある記事です。

今後も、親しまれ機能する会報を目指し、改善を進めていきます。

### 3) 環境イベントへの参画

#### ① もったいないフェア2017 9月24日(日)

宇都宮城址公園(本丸町) 10:00~15:00  
来場者総数 34,000人(7-体験者数 340人)  
スタッフ6人(フォーラム理事・部会長他)

晴天に恵まれ、絶好のイベント日となり、多くの来場者を迎えることができました。

今年も自然に親しむ体験教室として「どんぐり工作」を行いました。今年は昨年の反省をふまえ、工作の仕方を工夫しスムーズな運営につとめました。それでも工作体験者が途切れることなくスタッフも昼食がとれない程度でした。



#### フォーラム活動をパネル展示で紹介

- ・フォーラムの役割紹介
- ・里山保全部会、再生可能エネルギー部会の活動紹介
- ・体験型展示:「どんぐり工作」
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布 等

親もスタッフも“てんやわんや”のどんぐり工作

## 情報部会 (つづき)

### ② エコテック&ライフとちぎ 2017

11月3日(金)～4日(土) 10:00～16:00/15:00

マロニエプラザ(元今泉)

来場者総数 約4,000人

(フォーラムブース体験者数103人)

県内最大のエコの祭典とも言われるこのイベントは「ひろがれエコ行動の輪」をテーマに、多彩な内容で開催されました。フォーラムの紹介、環境学習センターの紹介、そして体験教室として風力発電をテーマに「風はなぜ吹くのだろう?」「風速計つくりと実験」を再生可能エネルギー部会が担当しました。扇風機で風速3m/sの風をつくり、正しく指示するよう風速計のフラップを調整する実験は大人気でした。



つくった風速計を扇風機で実験しました

### ③ 環境学習センター チャレンジもったいない 2017

8月19日(土) 10:00～15:00

宇都宮市環境学習センター(茂原町)

来場者総数 853人

(フォーラムブース体験者数73人)

フォーラムが運営する環境学習センターで開催された「チャレンジもったいない 2017」に、今年も再生可能エネルギー部会がブース出展しました。

今年は風力発電をテーマに、風の力を知ろう「風速計つくり」で、まず「風は太陽の熱がつくる」ということを学びました。製作した風速計を扇風機で実験、正しく指示する調整が飛行機みたいと大歓声でした。

屋外では、ソーラークッカーによる「たい焼きとポップコーンづくり」の実験を行いました。



風速計つくり工作風景



ソーラークッカー実験

### ④ 環境学習センターエコまつり 2018

3月3日(土)～4日(日) 10:00～16:00

宇都宮市環境学習センター(茂原町)

来場者総数 2,934人

(フォーラムブース体験者数119人)

フォーラムが運営する環境学習センターの最大イベント「エコまつり 2018」が開催され、再生可能エネルギー部会がブース出展しました。

今回は、太陽光発電を体験する「ペットボトルランタンつくり」です。ガーデンライトを利用したオリジナルランプは大人気で、完成したランタンを暗箱で実験しました。



再生エネ部会のブースをNHKが取材

各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業  
**生物多様性保全部会**

今年度、生物多様性部会は新しく部会長を迎え新しい企画にチャレンジしました。

生物多様性という難しいテーマに、次代を担う子どもたちにスポットをあてて「親子で楽しく自然体験」プログラムを、宇都宮共和大学・自然観察サークルの全面的な支援をいただき実施しました。

**子どもたちに期待すること**

- ・自然の大切さや、おもしろさを知ろう
- ・生きものの つながりを知ろう
- ・自然からの めぐみを感じよう
- ・からだの五感を使って、楽しみながら自然への興味、関心をもとう

**☆DVDの作成☆**

活動実績をDVD映像としてまとめました。

(環境学習センター

展示室で放映予定)

① **第1回「親子で楽しく自然体験」**

8月11日(金)、環境学習センターで開催、15家族50人の参加がありました。屋外で実施する予定でしたが、あいにくの空模様で、急遽室内の実施になりました。

「食う・食われる」「絶滅?クイズ」そして生きものつながりを知る「生きものピラミッド」などのゲームを通じて、動植物のつながり、そして人とのかかわりを学びました。



事前の予行演習は、屋外で実施しました



生きものピラミッドをみんなで作ります

② **第2回「親子で楽しく自然体験」**

1月20日(土)、環境学習センターで開催、14家族40人の参加がありました。第1部は林に出て「動植物発見ラリー」大学生と一緒に冬の林の宝探し、イラガまゆ、みのむしなどを発見しカードに記録しました。第2部は学習センターに戻り、自然のものを使ったクラフトづくり、子どもたちの自由な発想で素晴らしい作品が出来上がりました。



自然のものを使ったクラフトづくり



枝にいる「みのむし」を発見しました



参加者合計 約150人(事前調査・訓練を含む)

## 里山保全部会

本プロジェクトで実施すること

1. 雑木林の清掃（ごみ等の除去）
2. 雑木林の笹や倒木の整理
3. 雑木林の下草刈りと落ち葉さらい

本プロジェクトにより得られるもの

1. きれいになってゆく雑木林の景観
2. 枯れ木の中や落ち葉の下に棲む虫の観察
3. カブトムシやクワガタの発生
4. きこの発生
5. 春植物の復活
6. 望ましい姿で存在する雑木林の拡大

### ☆DVDの作成☆

活動実績をDVD映像と

してまとめました。

（環境学習センター

展示室で放映予定）

① 里山の定例保全活動 <毎月第3日曜日 9:00~12:00頃>

今年度も一般参加者が増え、参加人数が大幅に増加しました。

4月 丸太ベンチ補修 19人 	5月 法面の草刈り 6人 	6月 道路沿いの草刈り 30人 
7月 ロープワーク講習会 20人 	7月 セミ羽化観察 4人 	8月 笹とツル草刈り 14人  < 9月定例会は雨のため中止 >
10月 観察路の整備 4人 	11月 枯れ枝倒木の整備 10人 	12月 落ち葉さらいと焼きイモ 18人 
1月 笹刈りとマキ割り 13人 	2月 落ち葉さらいと焼きイモ 12人 	3月 落ち葉さらいと笹刈り 18人 

## 再生可能エネルギー部会

### 部会活動さらに活発に

栃木県における「再生可能エネルギー」に注目し、その確実な進展に向けて市民とともに学び・発信していかうと、平成24年度部会が設立されました。平成28年11月には脱炭素社会へ向かうCOP21パリ協定が発効し、世界の再生可能エネルギー導入が大きく伸びる一方で、日本の遅れが目立ちます。

29年度は、部員も増え精力的に勉強会を実施するとともに、環境学習センターで開催された「チャレンジもったいない」など各種イベントに出展し、部員から市民に積極的に情報発信を行いました。また、環境学習センター主催の再生可能エネルギー施設見学会の企画運営を行うなど幅広く活動を進めることができました。

8月には、宇都宮市へ「太陽熱利用システムの普及を！」との提言書を提出しました。これは2年間にわたる太陽熱利用の有用性研究の成果で、その導入の遅れている栃木県の牽引役を期待し行ったものです。

#### ① 月例勉強会＋外部調査研修会

毎月1回（原則第3土曜日）、環境学習センターで実施し講師を交替でつとめながら研鑽を積んでいます。7月には、「再エネ進展を拒む電力ネットワークの課題」について調査すべく、産総研へ出向きました。



展示パネルの前で勉強会

#### ② 展示パネルを全面更新

環境学習センターに常設展示されている「栃木の再生可能エネルギー」は展示後2年が経過したため、全面更新しました。「栃木県の電力自給率はわずか8%」など、興味あるデータも追加されています。



更新された展示パネル

#### ③ 宇都宮市へ提言

8月再エネ部会は、宇都宮市環境部長へ「太陽熱利用システムの普及を！」との提言書を提出しました。この2年間の研究成果をもとに「他県に遅れている太陽熱利用を地球温暖化対策の一つにして欲しい」と主張するものです。



提言書を渡す再エネ部会長

(①・②・③延べ参加人数 115人)

#### ④ 各種イベントに出展し再生可能エネルギーを普及

8月「チャレンジもったいない」風速計をつくろう/	スタッフ6人	参加者73人	主催：環境学習センター
11月「エコテック&ライフ」風速計をつくろう/	スタッフ4人	参加者103人	主催：県温暖防止センター
3月「エコまつり」ペットボトルランタンをつくろう/	スタッフ6人	参加者119人	主催：環境学習センター

#### ⑤ バスで行く再エネ施設見学会（環境学習センター支援事業）

例年どおり事前調査・調整から当日運営まで幅広く担当しました。今回は那須地域にスポットを当てて、「先進の再エネ施設」を見学しました。バスの中では、再エネ部員によるミニ講義も実施しました。

10月19日（木）9：00～16：45  
スタッフ2人 参加人数37人



栃木県初の温泉熱利用のバイナリー発電を見学

参加者合計 約470人

## その他の活動

- ① 街中の野鳥観察会 11月25日(土)  
 栃木県中央公園(睦町) 9:00~11:00  
 参加者数 50人(スタッフ含め)

日本野鳥の会とちぎの支援をいただき、抜けるような青空のもと街中の野鳥観察会を開催しました  
 確認された鳥は昨年の半分の13種でしたが、その分、ゆっくりと観察することができました。紅葉した公園にある池にいたカイツブリは、鳥なのにエサをとるための潜水する動きに参加者はびっくりでした。



潜水する鳥にびっくり!

- ② プチ農業体験プロジェクト(地域活動支援事業)

地元さつきのプロジェクトチームとの共催で、農家の畑をお借りして実施しているプロジェクトは今年で6年目を迎えます。今年度は、今までの「おいしいお米をつくり」から、「みんなと私の野菜畑」として野菜づくりと自然観察に挑戦しました。  
 6年間累計の参加者は1500人を超えました。今回で最終回とする予定でしたが、親子で汗をかきながら自然に触れるこの企画は大変な人気があり、来年度も続けることになりそうです。

- 5月20日(土) 自然観察・自分の畑に苗を植える 親子80人(スタッフ含む)
- 6月 4日(土) オタマジャクシの観察・綿の苗を植える 親子60人(スタッフ含む)
- 7月23日(日) 私の畑整備(野菜の収穫) 親子40人(スタッフ含む)
- 8月 6日(日) 私の畑整備とスイカの収穫(18個)とスイカ割り 親子50人(スタッフ含む)
- 9月18日(月) カエル調査・新米を羽釜で炊いて食べる 親子60人(スタッフ含む)
- 10月15日(日) 雨のため中止
- 11月12日(日) 和綿収穫・イモ堀り・イモツルのリースづくり 親子50人(スタッフ含む)
- 12月10日(日) 焼きいも・クリスマスリースづくり 親子70人

延べ参加者480人(親子)(スタッフ含む、準備作業含む)



みんなでマルチを敷きました



自分の畑で大きく育つ野菜にびっくり!



こんなにサツマイモが採れました



一年の頑張りの成果をみんなで分かち合いました



オタマジャクシの観察

その他の活動参加者合計 約530人

## 学習センター事業部

### 平成29年度の年間利用者は過去最高を大幅に更新

29年度の年間利用者数は37,289人で、講座参加者や一般来館者、自主グループ他の増に伴い過去最高を大幅に更新しました。

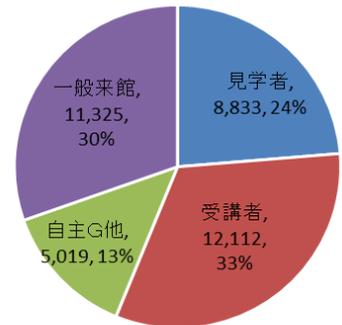
### 平成30年度中には累計利用者50万人超え

平成13年開設以来、17年が経過しましたが、平成29年度までの累計利用者は473,739人で、平成30年度の12月頃には50万人を超える見込みです。

### 環境学習講座をフォーラムも支援

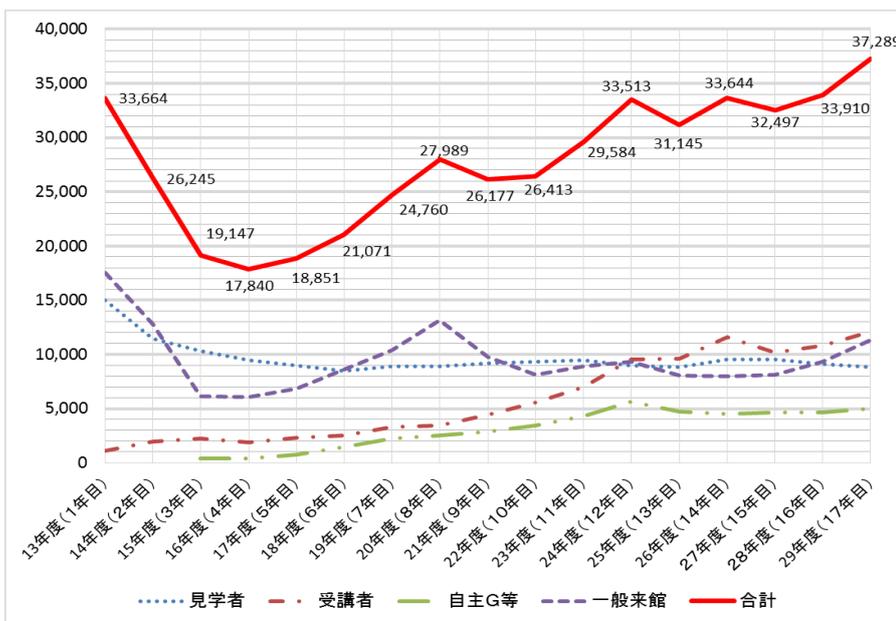
主力事業である講座の利用者は、12,112人で全体の33%を占めていますが、フォーラムでもいくつかの講座の企画運営を支援し、利用者増に寄与しています。

### 利用者内訳



年間利用者数37,289人

### (人) 年間利用者の推移 (H13~H20環境フェア含む)



「エコまつり2018」は2,934人の方々が来館し、各ブースは大盛況でした。

### ① 環境学習機会提供機能

□「地球温暖化」、「生物多様性」を主軸に、様々な講座を開催しました。

◆環境大学（前期・後期 各5回シリーズ）

◆生物多様性連続講演会（2回開催）

「水の中の多様な生きものたち（高橋伸拓氏）、「家畜の命の役割について（長尾慶和氏）」



前期「地球温暖化と私の暮らし」  
エコな企業見学（カゴメ）



後期「水環境を考える」  
松田新田浄水場見学



◆再生可能エネルギー施設見学会（10月）  
/フォーラムの再生可能エネルギー部会が企画運営/  
先進の再エネに取り組む施設見学会

- ①那須野が原土地改良区連合 ②百村第2発電所
- ③ホテルサンバレー バイナリー発電所
- ④鳥野目浄水場小水力発電所



ホテルサンバレーバイナリー発電所

□自然と触れ合う体験型講座も多数実施しました。



キノコを探そう（6, 7, 10月）



渡良瀬遊水地（4, 6, 10月）



足尾植樹（4, 8月）

② 活動支援機能

□自主グループ

講座卒業生で構成される自主グループは、10グループまで増え活動を継続しています。当センター最大のイベント「エコまつり」では、無料体験コーナーを企画運営していただき人気を集めています。今年度は、2日間で930人の方が体験しました。

□こどもエコクラブ（環境未来館こどもエコクラブ）

今までの「うつのみや自然探検隊」から「環境未来館こどもエコクラブ」に改名し、環境に関する幅広い活動をしました。かぶとむしプロジェクトを含め32講座を実施するとともに、地域事務局企画も行い、市内こどもエコクラブとの交流も図りました。



未来館エコクラブ（スーパーでエコを探そう）

③ 交流促進機能

□「チャレンジもったいない2017」を開催（8月）

天気にも恵まれ、863人も親子が参加しました。夏休み終盤の土曜日1日をオープンハウスとして、夏休み宿題にもなるリサイクル工作を中心にした12の体験型ブースを出展しました。

□釜川マイクロ水力発電を実施（12月）

宇都宮工業高校と連携し、廃棄自転車を利用したマイクロ水力発電装置を製作、釜川に設置しました（6年目）。今年は釜川イルミネーションと連携し、多くの方の参加を得て点灯式を行いました。

多くの人に釜川の恵みを楽しんでもらうため、「日本をめざせ！相性チェック」を設置し、多くの方が相性診断をしました。

□「エコまつり2018」を開催（3月）

9回目を迎える「エコまつり」は、絶好のイベント日和で、2,934人の方が参加しました。（前年比303人増）

「来て・見て・体験して・エコを感じて」をコンセプトに16にも及ぶ無料体験コーナーを出展しましたが、見学・ミニ新幹線等乗車も含め、延べ4,000人の方に体験してもらい成功裏に終わることができました。（NHK, ミヤラジ, 下野新聞取材あり）



セミの抜け殻でオブジェづくり



ふくろう笛づくり

④ 情報提供機能

□ホームページをフル活用

ホームページを活用し、情報発信力を強化しました。また、フェイスブックにより、講座やイベント等の旬な情報をリアルタイムで提供してきました。

⑤ 体質強化機能

□職員の教育研修を実施

教育を毎月実施し、職員のスキルアップに努めるとともに、毎日、朝会、夕会を実施し、情報の共有化等を図ってきました。